



# ながくて幸せのモノサシづくり

## ながくて幸せ実感広め隊活動中！

間 経営管理課 ☎ 56-0600 記事 ID 5080

長久手市民の幸せを、市民目線で測る長久手独自の「ながくて幸せのモノサシづくり」について、この取り組みの経過や取り組み状況についてお知らせします。

### 「ながくて幸せのモノサシづくり」とは？

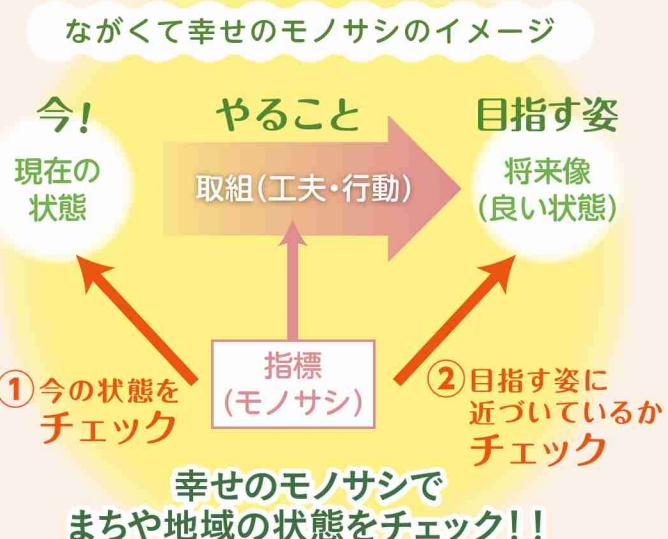
長久手市は、「日本一幸せ感が高いまち」を目指すまちづくりを行っています。本市が目指す理想のまちづくりに向けて、

- ①市民生活や地域社会の状況を把握できているか？
- ②まちづくりは目指す方向に向かって上手く進んでいるか？

という観点から、そのまちづくりの取り組みが正しいのかどうか、確認できる「道具」が必要です。

しかし、ただ単に「道具」を作ることが目的ではありません。むしろ、「幸せのモノサシ」を使ってまちや地域の幸せを具体的に示し、みんなが幸せに生活できるまちの実現に向けて、「市民自らが動き始める新しい仕組み」につなげることが大切です。

そのため、市民が主役となった市民目線による「ながくて幸せのモノサシづくり」に取り組んでいます。



### 「ながくて幸せ実感広め隊の活動」

長久手の幸せづくりにつながる活動に取り組む市民やグループにスポットライトを当て、その活動を紹介することで、幸せのモノサシづくり活動への参加と理解を広めるために、市民と市職員の有志計30人で「ながくて幸せ実感広め隊」を結成しました。

まず、平成26年度に実施した「幸せ実感アンケート報告書」の結果の中で、生活実感の評点が低い項目に着目して、それぞれが採り上げてみたい「分野・テーマ」を絞り込み、そこから幸せ実感を高めるためのキーワードを見つけました。

そして、5回のミーティングを重ねたうえで、幸せづくりにつながる活動を実践している個人・団体について情報を共有し、取材内容や役割分担などを決めたうえで、実際に活動の現場などに取材に行きました。

その活動を紹介するため、11月8日の市民まつりの幸せ実感広め隊ブースでその成果を発表しました。



# 広め隊が見つけた、幸せのかけら!

広め隊が取材した市民・団体について、その取材内容の一部を紹介します。



キーワード

つなぎ役、ツナギスト



キーワード

交流、子ども、居場所

つながり隊(Aチーム)

丁子田シニアクラブ会長 菊池利彦さん

幸せな地域とは

～居場所づくり・つながりづくりのヒント～



シニアクラブでは、集会所などで様々な活動を行い、シニアの方の居場所を提供しています。

物が充足した世の中で、人は何で幸せを感じるかを考えたとき、『人ととの関係』、親子や兄弟、そして『地域のつながり』が幸せにつながるのではないかでしょうか。

Bチーム

長久手市棒の手保存会

伝統文化の伝承、子どもと地域のつながり



棒の手保存会では、県の無形民俗文化財に指定されている「長久手の棒の手」を、警固祭りなどの行事で寺社に奉納し、またこの伝統文化を次世代に伝承するといった活動をしています。

そんな活動を通じて、地域に自分の居場所や誇りを感じ、地域間交流や世代間交流ができ、また、子どもたちの育成に社会貢献の実感とやりがいを持てることが、「幸せ」に繋がるキーフレーズになるのではないかと思いました。



キーワード

地域 × 資源

チーム乾杯(Cチーム)

なないろカフェパンパン

ボランティアさんの温かさがぬくぬく  
元気の出る集い場 × 地域の人々



生活支援コーディネーターの  
朝見さん(左)・飯田さん(右)

ひとりでご飯を食べている人・自宅から出る機会が少ない人が集まり、みんなと楽しく食べることで幸せを感じ、調理をするボランティアさんは、料理を作ることで幸せを感じています。

ランチ以外の時間は介護予防教室を開いています。



キーワード

やりがい、いきがい

Dチーム

生きがい支援どんぐりの杜

参加ができる場がある幸せ

～「必要とされている!」と感じる場～



ここは多くの人が交わる場であり、地域の若い人から高齢者まで、さまざまな年齢の方々が、自分の楽しみややりがい、生きがいを見つける場になっています。その中の一つとして、子どもたちをお預かりし、子育て中のお母さんのお手伝いをしています。

※各チームの取材報告から抜粋

ながくて幸せ実感広め隊が見つけた幸せのかけらは、取りまとめ次第発信していきます。

みなさんも一緒に“幸せのかけら”を見つけませんか?

詳しくは、市HPでお知らせしています。ぜひご覧ください。

ながくて幸せのモノサシづくり

検索